

第62期物理学史資料委員会活動報告

委員長：廣政直彦 副委員長：勝木 渥 理事：柴田文明

委員：植松英穂、岡本拓司、小長谷大介、篠原 猛、高岩義信、永平幸雄、難波忠清、山脇幸一、
吉田晴代

1．物理学史資料委員会議の開催

下記の通り、3回の委員会議を開催した。

第68回物理学史資料委員会

2006年10月17日（火）13:30-16:00

第69回物理学史資料委員会

2007年 3月13日（火）13:30-16:00

第70回物理学史資料委員会

2007年 8月 8日（水）13:30-16:00

（当初、7月24日開催の予定であったが、廣政委員長の海外出張のため変更になった。）

2．物理学史資料に関する情報

2-1 物理学史資料委員会

2-1-1 資料委員会に寄贈された茅氏の講義を宮原氏が筆記したノートを、宮原氏に返却した。

2-2 坂田記念史料室

2-2-1 坂田記念史料室が、理学部B館から理学部A館A468に移った。

2-2-2 坂田模型50周年の国際会議が、2006年11月25日・26日に開催された。

2-2-3 早川資料は、ダンボールに入ったままで整理されていない。

2-3 自然科学研究機構核融合科学研究所

2-3-1 核融合アーカイブ室で資料の収集が進行中で、現在、約1万7000点の資料が収集されている。
収集された資料には、ID番号が付けられて整理されている。

2-3-2 現在保管している早川資料は、プラズマ核融合以外の資料も含まれている。

2-3-3 アーカイブ室の利用規程を作成中である。

2-3-4 収集した資料の目録を公開する準備をしている。現在、2000点から3000点の書誌情報を、
インターネットで公開している。

2-4 高エネルギー加速器研究機構

2-4-1 現在所蔵している資料は、核研から預かった議事録等や、高エネルギー研が設立される時期の学術会議等の議事録、前所長や前機構長の断片的な資料で、整理しリストを作成する予定である。

2-5 東京大学

2-5-1 小穴純資料が東京大学教養学部寄贈された。文書資料が30箱、天体望遠鏡等の機器も数十点以上ある。日記や論文の草稿などを調査している。

2-6 金沢大学

2-6-1 石川県専門学校時代の図録が、金沢大学資料館の資料目録がNo.5まで刊行されている。そのうち2冊が実験機器の目録である。

2-7 神戸大学

2-7-1 神戸大学所蔵実験機器のカタログ制作がされている。

2-8 石川県立自然史資料館

2-8-1 石川県立自然史資料館準備室が石川県立資料館となり、金沢大学角間キャンパスの近くの銚子町に設置された。所蔵されている実験機器は、約1100点である。

2-9 田中館愛橋資料

2-9-1 『田中館愛橋会報』第38号、第39号、第40号が発行された。

2-9-2 田中館愛橋博士生誕150年記念事業として、DVD『写真で見る田中館愛橋の生涯』が制作された。

2-10 本多光太郎資料

2-10-1 東北大学総合博物館にある本多光太郎資料は、まだ整理されていない。

2-11 曾禰 武資料

2-12-1 曾禰 武が戦後校長を務めた開成学園高校の資料室に、資料が所蔵されている。

2-12 その他

2-12-1 『旧制姫路高等学校の物理実験機器カタログ 神戸大学所蔵』(神戸大学、2007年)が刊行された。

2-12-2 『三高四高由来教育用物理実験機器の個別発達史の解明』(平成17年度～平成18年祖科学研究費補助金研究成果報告書、平成19年3月)が刊行された。

2-12-3 物理学史通信刊行会編『物理学史ノート』(No.10、2007年3月)が刊行された。

3. 資料委員会所蔵資料の利用状況

岡本拓司「アインシュタインが来る 大正11年、土井不曇理学士の恍惚と不安」(『科学技術史』第9号、2006年10月)で、土井不曇資料が使われた。

勝木 渥『曾禰 武 忘れられた実験物理学者』(績文堂出版株式会社、2007年)で、資料委員会所蔵資料が使われた。

4. 資料委員会所蔵の物理学史資料の利用規程について

利用規程については、公開の範囲や制限、利用した資料を使って論文等を発表する場合に生じる問題等があり、継続審議とする。

5. 資料委員会のホームページ

5-1 『物理学史資料委員会会報』第3号を追加し、発行時の情報であることを追記した。

5-2 トピックスのページを新設した。

5-3 関連リンクのページに、「自然科学研究機構核融合科学研究所核融合アーカイブ室」のリンクを追加した。

6. 今後の活動

6-1 資料委員会を通して全国の物理学史資料の保存状況を把握し、その充実の方向を探り、新たな資料を発掘して、資料委員会にそれらの情報を集中させる。

6-2 資料委員会のホームページを充実させ、利用価値を高める内容にし、物理学史資料の保存の重要性をアピールする。

6-3 資料委員会が所蔵している資料の現状の調査と、他の機関の資料に関する利用規程について調査し、資料委員会所蔵の資料の利用規程について検討する。